山口市スマートシティ推進ビジョン(兼)官民データ活用推進計画(素案)【概要版】

資料2

＜ 目 次 ＞

Ⅰ ビジョン策定の背景
1 時代の潮流
2 国の動向
3 県の動向
4 本市の現状と課題

Ⅱ 推進ビジョン
1 ビジョン策定の目的
2 目指すまちの姿
3 ビジョンの位置付けと計画期間
4 目指すまちの姿の実現に向けた重点領域
5 官民データ活用推進計画
6 ビジョンの推進体制

Ⅲ 重点プロジェクト
1 重点プロジェクトの位置づけ
2 重点プロジェクトの実施体制
3 重点プロジェクト
4 重点的にプロジェクトを進める地域

Ⅰ ビジョン策定の背景(P1～)

1 時代の潮流 (P2)

(1)人口減少・少子高齢化の進展
(2)人生100年時代の到来
(3)働き方や暮らしへの意識変化

2 国の動向 (P3～P5)

(1)地方創生の推進
(2)「Society5.0」の実現
(3)デジタル化の進展
(4)持続可能な開発目標(SDGs)の推進
(5)脱炭素社会の実現

3 県の動向 (P6)

4 本市の現状と課題 (P7～P32)

(1)人口構造等
①人口減少の進展
②超高齢社会の進展
③自然動態の推移
④年齢別社会動態

(2)産業構造
①産業別就業人口等の推移
②男女別産業人口と特化係数
③労働力人口、有効求人倍率等の推移
④農林業の状況
⑤本市の温室効果ガス排出量の推移

(3)本市の都市政策及び都市構造
①本市の都市政策
②目指すべき都市構造等
③拠点構築とネットワーク化

(4)本市における分野別の現状と課題の整理
総合計画に掲げる5つの政策グループを基本として、まちづくりアンケートによる市民ニーズにおいて重要度が高い、交通、防災、子育て・教育、医療・介護分野を始め、観光・文化・スポーツ、産業、地域づくり、行政、そして、スマートシティの取組を進める上での基盤となるDX社会基盤の9つの分野を、スマートシティの推進に向けた基本的な分野とし、スマートシティ推進協議会の各委員からの御意見、関係者等のヒアリングなどを踏まえ、9つの分野ごとの現状と課題について整理しています。

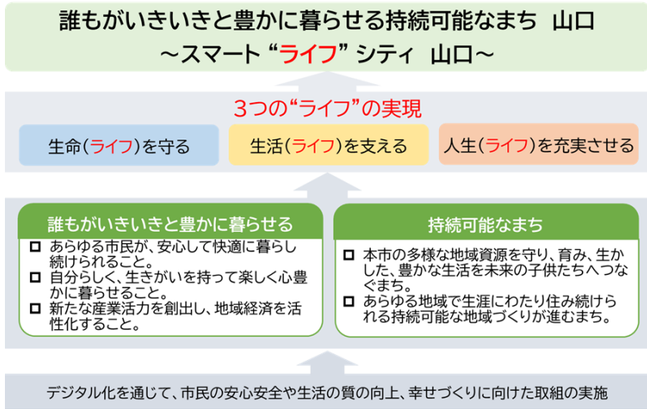
Ⅱ 推進ビジョン(P33～)

1 ビジョン策定の目的(P34)

本ビジョンは、増大し続ける地域課題や社会課題の解決に向けて、本市では、デジタル社会へ対応し、スマートシティの取組を進め、地方創生の取組を更に加速化させることで、地域課題の解決や地域経済の活性化を図り、オール山口の発展を実現し、誰一人取り残すことなく、安心して楽しく暮らし続けられ、また、生涯にわたり活躍し続けられる地域社会を構築するために策定します。

2 目指すまちの姿(P35～P37)

(1)目指すまちの姿

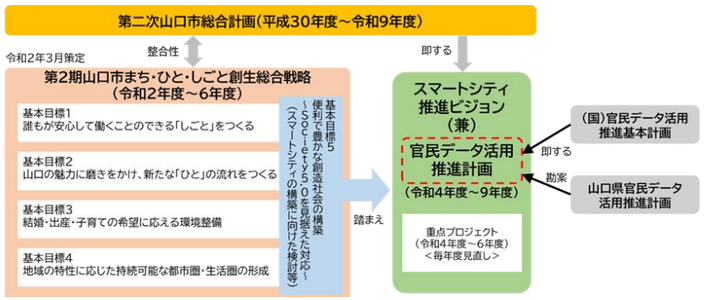


(2)目標(数値によるまちの姿)
第二次山口市総合計画基本構想と同様に、「人口(定住人口)」、「交流人口」、「ふるさと指標」の3つの数値を、目標の達成状況に関する総合的な指標である KGI(重要目標達成指標)として設定します。

3 ビジョンの位置づけと計画期間(P38)

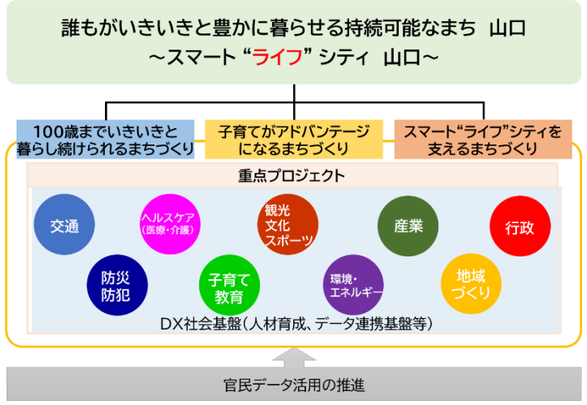
(1)位置付け
本市の地方創生への取組の方向性を示す「第2期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる基本目標5「便利で豊かな創造社会の構築～Society5.0 を見据えた対応～」を踏まえ、第二次山口市総合計画の部門計画として位置づけます。

(2)計画期間
第二次山口市総合計画と目標年次を同じとし、R4年度から R9 年度までの6年間とします。
また、本ビジョンにおける重点プロジェクトの計画期間については、第二次山口市総合計画第5次実行計画実行計画に合わせて、R4年度から R6 年度までの3年間とします。



4 目指すまちの姿の実現に向けた重点領域(P39～P46)

本市における様々な課題を踏まえ、本市においては、「100歳までいきいきと暮らし続けられるまちづくり」、「子育てがアドバンテージになるまちづくり」、「スマート“ライフ”シティを支えるまちづくり」の3つを重点領域とすると同時に、行政や民間が保有するデータの利活用を図り、デジタル化を通じて暮らしを中心とした市民目線での取組を進めることで、目指すまちの姿の実現を図ります。



5 官民データ活用推進計画(P47～P49)

官民データ活用推進基本法に基づいて策定する「山口市官民データ活用推進計画」は、本ビジョンの目指すまちの姿の実現に向けた個別施策の推進を支える横断的な仕組として、官民データの利用環境の整備促進を図ることを目的とし、次の取組を本ビジョンのプロジェクトの一部に位置付けて一体的に推進していきます。

6 ビジョンの推進体制(P50～P51)

産官学民の多様な主体が参画する「山口市スマートシティ推進協議会」を組成し、本ビジョンの実現を推進していきます。また、交通、行政、子育て・教育など暮らしを支える様々な分野における課題解決に向け、スマートシティ連携事業者を中心とした分野ごとの分科会を設置し、具体的な施策・サービスの社会実装の検討を行なっていきます。

Ⅲ 重点プロジェクト(P52～)

1 重点プロジェクトの位置づけ(P53)

本ビジョンの目指すまちの姿「誰もがいきいきと豊かに暮らせる持続可能なまち 山口 ～スマート“ライフ”シティ 山口～」の実現に向けて、第二次山口市総合計画実行計画に位置つける政策や施策に基づく事業を展開していきます。
その上で、本ビジョンの目指すまちの姿に向けた3つの重点領域に対し、横断的に、重点的に、デジタル化を通じて対応すべき取り組みを、重点プロジェクトとして位置づけます。

2 重点プロジェクトの実施体制(P54)

重点プロジェクトについては、スマートシティ連携事業者を中心に、産学公民が連携し、それぞれが有するノウハウを最大限に生かして、サービスの構築を図り、市民等へのサービスの提供を行います。

3 重点プロジェクト(P55)

資料1(P28～P68)参照

4 重点的にプロジェクトを進める地域(P56～P57)

本市におけるスマート“ライフ”シティの取組を効果的に推進するために、重点的に取り組む地域等を設定し、先行的な取組を進めることで、その成果を地域の実情に合わせ、市内21地域全体で展開し、更に県央部、県全体、すなわちオール山口で展開していきます。